

『感性 環境 見識』

2023年

4月7日(金)

同じ内容と条件で作った教材CDに
名前を書くと音が変わる?!

実践発表の中で、生体エネルギー生涯教育の教材の一つ、
スペシャルな電気で制作しているCDの音を体験して
いただきます。言葉では説明しきれない生体エネルギー
を活用する有用性と一人ひとりが持つ「物語」に
よる反応をあなたの感性でご確認ください。

感性

環境

見識

発表者 金田 直子 氏

ひじりみちりん

生涯教育 聖盈輪学園 講師

しんぽ

“長野真歩教室” ご紹介

長野真歩教室の生体エネルギー生涯教育は、
宇宙でたった1つの存在である私たちが、
「真の己」に向かって自ら成長を望み、なりた
い自分になる(体現する)ための土台(根っこ)
づくりのお手伝いをさせていただいています。

一人ひとりが周囲の環境に対応し、自分が持っている唯一無二の能力を伸ばす教育を実現するため、私
たち生体エネルギー生涯教育を実践している講師たちは、まず生体エネルギー理論を基本とした考えの元、教
育の場となる教室の環境を整えることから始めています。教育を目的としたその環境のもと、個人ごと、その
時々が必要と考える生涯教育のプログラムを実践し、それぞれが持つ感性を伸ばし、同時に見識も深めてい
きます。こうして感性や見識を培っていくことで、たくさんの気づきをもたらし、様々なことを取得してい
きます。そして、取得したことを糧とした対応力が高まっていきます。

教室に通って来られる生徒さんの成長は、大地にしっかりと根を張り唯一無二の花を咲かせ、やがて様々
な実を結んでいく植物の成長にたとえられると考えています。土壌の環境が良いほど、しっかりと根を
張れるほど、周りの環境に対応していくほど、花や実は鮮やかに滋養豊かになっていきます。花を咲かせるの
も実を結ぶのも本人の努力によるものですが、その時々状況に合わせて家族や講師が水や肥料などを与える
ように適切な手助けをしていくことも、大地となる家庭や教室などの環境を高め整えることも大切です。

生体エネルギー生涯教育は、生体エネルギーを活用することで感性・環境・見識など、様々な能力の種が
大きな実を結べるよう育んでいく教育です。

最先端に最先端が出会ったら 無限の可能性が広がる

エクソソーム

×

生体エネルギー

【講演】 西平 隆

エクソソームとは何か、善玉エクソソームと悪玉エクソソームの可能性
肉眼では見えないエクソソームをどう事業化し、これからどう発展させていくか

【対談】 西平 隆 × 荒川 洋一

エクソソームと生体エネルギーが手を組んだら、何が起きるか

リアルタイム記録 with グラレコ

エクソソーム



エクソソームとは

細胞から分泌される生命維持に重要な役割を担う細胞外小胞(100ナノメートル程度の粒子)。
発見当初は、細胞内の老廃物を細胞外に放出する“ゴミ袋のようなもの”と考えられていた。
エクソソームにマイクロRNAが含まれていることがわかり“全ての疾患治療の根本を変える”と世界中の研究者が最も注目する研究対象になっている。
細胞間のコミュニケーションに使われ、善玉エクソソームはそれぞれの臓器を適切に動かし、カラダが正常に機能し、健康な状態を保つために大きな役割を果たしている。
また、悪玉エクソソームが癌細胞の転移に関わっているメカニズムが発見され、今後の癌研究にブレイクスルーを起こすことも期待されている。

西平 隆 Takashi Nishihira

ExoEarth株式会社 代表取締役
1959年生まれ 宮城県出身

「世界中の人々が健康で長生き出来る社会」の創造をミッションに掲げ、世界最先端の先制的自己再生領域のメディカルビジネスモデルを展開。

生体エネルギーとは

生体システム実践研究会 佐藤政二代表が60年以上前に、農業を営み自然に向き合う中で発見したエネルギー。
存在するものすべてが持っているエネルギーであり、人間も、地球も、動植物も、微生物も、鉱物も、また、それらを構成している元素や素粒子の一つひとつも持っていると考えている。
それらの存在すべてが相似形だと捉え、いかなる単位にも個性があり、良い環境の中に置けば、能力(生体エネルギー)を上げることができると考え、それを実現する様々なツールが開発されている。

荒川 洋一 Yoichi Arakawa

豊大株式会社 代表取締役
1962年生まれ 愛知県出身

生体エネルギーを賃貸物件に導入しているメガ大家(220戸45億円)。エクソソームとの縁を紡ぎ出し自らも体験。コラボレーションの無限の可能性を語るのに最適な人材。

グラレコ(グラフィックレコーディング)とは

文字だけでなく、イラストや図形も使って、講演や対談・会議などの内容をリアルタイムに記録する技術。
わかりやすく視覚化することで、直観的な把握が可能になり、理解を深め、議論を活性化させる効果もあり、いま最も注目を浴びているコミュニケーション手段。



山崎史香 Fumika Yamazaki グラフィックテラー株式会社 代表
視えない世界を 分かり合う世界へ グラフィックを通してこころと思考が動きだす。

伊藤 水希 Mizuki Ito
Graphic Recorder

2023年4月8日(土) 9:00-11:00 @生体エネルギー研究所研修棟

本イベントは、生体システム実践研究会4月本部勉強会内で実施されます。
お申込み・お問合せは、生体システム実践研究会本部事務局まで (勉強会参加費2,000円)
〒389-0511 長野県東御市滋野甲4187-3 s-energy@chive.ocn.ne.jp TEL: 0268-64-1436

